

【株式等の決済期間短縮化（T+2）】

休日テスト（業務確認テスト／総合運転試験（RT））
に関する実施手順書

<個別編（ストリートサイド（SS））>

株式会社日本証券クリアリング機構

改訂履歴

2018年10月	公表	
2019年1月	改訂	
	5. 本番稼働リハーサルに係る個別手順 (1) 本番移行の日程	稼働判定結果について、2019年7月14日(日)の17時を目処に公表する旨を記載
	5. 本番稼働リハーサルに係る個別手順 (3) 本番稼働リハーサルの実施概要	本番稼働リハーサルのシステム稼働時間帯が確定したことに伴い、JSCCの終了時刻を18:00から16:00に変更及び「(仮)」を削除
2019年5月	5. 本番稼働リハーサルに係る個別手順 (2) ~ (4)	本番稼働リハーサルの参加申込方法および稼働NG時の現行システムへの戻し確認テストの実施環境等の詳細に係る記載を追記。その他、軽微な修正。

目次

1. 本資料の位置づけ
2. 休日テストの実施に向けた事前準備作業
3. 休日テストへの参加申込及び結果報告について
4. 業務確認テスト及びRTに係る個別手順
 - (1) 業務確認テスト (サイクル1)
 - (2) RT1 (サイクル2)
 - (3) RT2 (サイクル3)
 - (4) RT3 (サイクル4)
5. 本番稼働リハーサルに係る個別手順
6. テスト実施にあたっての連絡先

別紙 休日テスト時の確認内容 (チェックリスト)

(別冊) TMIユーザ向けテストのご案内

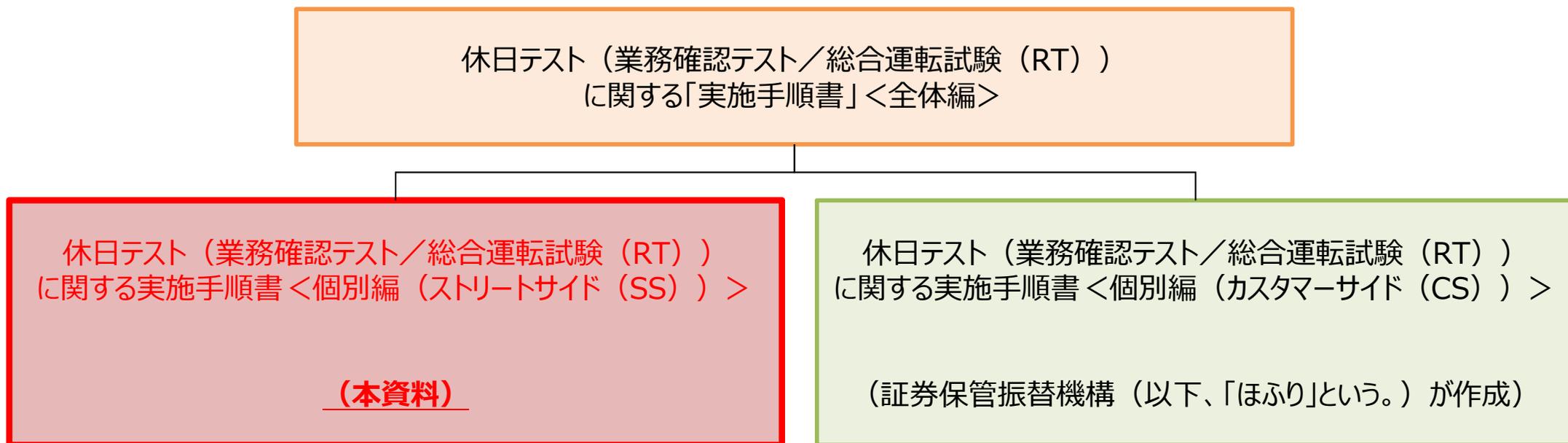
※TMIサービスをご利用の参加者様におかれましては必要に応じてご確認ください。

(TMIサービスをご利用でない参加者様はご確認いただく必要はございません。)

1. 本資料の位置づけ

1. 本資料の位置付け

- 株式等の決済期間短縮化（T+2化）の休日テストに係る実施手順書は、ストリートサイド（SS）・カスタマーサイド（CS）全体に関する事項（休日テストの概要、日程、実施環境等）を取りまとめた「休日テスト（業務確認テスト／総合運転試験（RT））に関する実施手順書〈全体編〉」と、それぞれにおけるテスト詳細を取りまとめた「同〈個別編（ストリートサイド（SS））〉」、「同〈個別編（カスタマーサイド（CS））〉」で構成されます。
- 本資料は、JSCC現物清算参加者（以下「参加者様」といいます。）を対象としたストリートサイド向けのテスト実施手順書（個別編）となります。ストリートサイド・カスタマーサイド全体にかかる事項につきましては、実施手順書〈全体編〉をご参照ください。



- T+2化に合わせて、現物清算システムのリプレースを予定しておりますので、参加者様におかれましては、新しい現物清算システムの操作訓練も兼ねることから、任意参加の日程含めて休日テストには特に積極的にご参加いただきますようお願いいたします。

2. 休日テストの実施に向けた事前準備作業

2. 休日テストの実施に向けた事前準備作業

- 株式等の決済期間短縮化（T+2化）の休日テストに先立ち、参加者様におかれましては以下をご覧ください、必要な準備をお願いいたします。
 - 決済予定データの検証に利用する本番データの事前準備
実施手順書<全体編>の「5. 休日テスト実施にあたってのポイント」及び「6. 休日テストの実施環境」に記載のとおり、休日テストでは、T+2化の初回受渡日想定であるDay3決済向けに過去の本番約定データ（貸借・品貸データを含む）に対してシステム運用日付を修正したデータをJSCC側で投入することから、参加者様は清算引受明細などの照合データ、銘柄別決済確定数量、総括清算表などの決済予定データの正確性の検証を行うことが可能です。必要に応じて、各参加者様にて検証用データの事前準備を実施いただきますようお願いいたします。
 - 新しい現物清算システムをご利用いただくための事前準備
各参加者様は休日テストへの参加にあたり、新しい現物清算システムが利用できるように事前準備をお願いいたします。なお、参加者様の現在の現物清算システムの利用形態（直結接続/参加者Web端末（以下「CMFWeb端末」といいます。））その他の条件により必要な準備が異なりますので、次頁以降をご確認ください。

【新しい現物清算システムの基本的な利用条件】

- 直結接続又はCMFWeb端末のいずれかの方法で新しい現物清算システムをご利用いただけます。（また、FTPサイトを介してCMFWeb端末からの取得ファイルを代替的に取得いただくことも可能となります。）
- CMFWeb端末を用いて新しい現物清算システムをご利用いただく場合、SSO/ポータルを経由してログインいただきます。また、CMFWeb端末の**動作保障は「端末OS : Microsoft Windows10 64bit版、Webブラウザ : Internet Explorer 11（以下「IE11」といいます。）」**となります。

2. 休日テストの実施に向けた事前準備作業

【新しい現物清算システムをご利用いただくための事前準備】

(i) 既存端末を継続してご利用いただく場合

- 現在の現物清算システムへのログイン形態（SSO/ポータルを経由しているか否か）、並びにご利用いただいている端末OS及びWebブラウザに応じて以下の事前準備が必要となります。
- 下記 # 1 から # 4 のパターンに応じた設定を行っていただき、休日テストへの参加に先立ち、平日本番環境においてSSO/ポータルへのログインが可能であることを事前に確認くださいますようお願いいたします。（なお、平日本番環境では新しい現物清算システムへの画面遷移はできませんので予めご承知おきください。） →参考別紙2.及び3. 参照

#	既存端末		必要な設定内容	参照ドキュメント
	SSO/ポータル 経由での利用	端末OS及び Webブラウザ		
1	している	“Windows10 64bit かつ IE11” である	<u>IE11のインターネットオプションにて、「DOM ストレージを有効化」してください。</u>	<u>SSO/ポータル操作マニュアル(※1)の「1-2-3.ブラウザ設定(セキュリティ) DOMストレージの有効化」のみ実施ください。 →参考別紙2.参照</u>
2		“Windows10 64bit かつ IE11” でない	<u>・端末OSやWebブラウザをアップグレードしてください(※2)。 ・その後、SSO/ポータルへの接続設定を行ってください。</u>	
3	していない (CMF端末に 直接ログイン)	“Windows10 64bit かつ IE11” でない	<u>SSO/ポータルへの接続設定を行ってください。</u>	<u>SSO/ポータル操作マニュアル(※1)の「1-2.事前設定」を実施してください。 →参考別紙3.参照 ※参加者様側のDNS設定、ネットワーク構成によっては、システム管理者担当者マニュアルの別添の対応が必要となる場合があります。(※3)</u>
4		“Windows10 64bit かつ IE11” である	<u>SSO/ポータルへの接続設定を行ってください。</u>	

(※1) Target-JSCCサイトの、株式等の決済期間短縮化（T+2化）プロジェクト関連ドキュメント / 接続仕様書等に掲載の『SSO/ポータル操作マニュアル』をご参照ください。

(※2) Windows及びIEのアップグレードに関しては、提供元であるMicrosoft社にお問い合わせください。

(※3) Target-JSCCサイトの、株式等の決済期間短縮化（T+2化）プロジェクト関連ドキュメント / 接続仕様書等に掲載の『システム管理担当者マニュアル』をご参照ください。

2. 休日テストの実施に向けた事前準備作業

(ii) 新規で端末を導入いただく場合

- 新規で端末を導入いただく場合は、端末OS : Microsoft Windows10 64bit版、Webブラウザ : IE11を実装したPCをご準備いただき、前頁にも記載の「SSO/ポータル操作マニュアル」の「1-2.事前設定」をご参照いただき、SSO/ポータルへの接続設定を行ってください。
- arrownet回線を追加で敷設される場合は「arrownet回線申請」が、現在の現物清算システムに対する接続台数から追加する場合は「清算システム利用申請」が必要となりますので、本頁下部の【新しい現物清算システムをご利用いただくために必要な申請手続き】をご参照ください。

(iii) 現在の現物清算システムに直結接続いただいており、新しい現物清算システムでも継続して直結接続いただく場合

- 接続先の変更が必要となります。接続に関する情報は、Target-JSCCサイトの、株式等の決済期間短縮化（T+2化）プロジェクト関連ドキュメント / 接続仕様書等に掲載の『清算参加者－現物清算システム 直結接続仕様書』をご参照ください。

【新しい現物清算システムをご利用いただくために必要な申請手続き】

- arrownet回線を追加で敷設される場合又は現物清算システムへの接続数を変更される場合のみ申請手続きが必要です。（現在ご利用いただいているarrownet回線、IPアドレスをそのまま新しい現物清算システムでも利用継続される参加者様におかれましては特段の申請手続きは不要です。）

#	申請項目	説明	備考
1	arrownet回線申請	<ul style="list-style-type: none">• T+2化に伴い、arrownet回線を追加で敷設希望される参加者様に限り、追加申請が必要になります。	<ul style="list-style-type: none">• Web申請システム（arrowface）を用いて申請手続きをお願いします。• 追加でarrownet回線を敷設する場合は、期間に余裕をもって申請手続きをお願いします。
2	清算システム利用申請	<ul style="list-style-type: none">• 現行の現物清算システムに対して接続台数（CMF端末利用、システム直結接続利用）を追加する場合には、手続きが必要となります。	<ul style="list-style-type: none">• Web申請システム（arrowface）を用いて申請手続きをお願いします。

(※)上記申請にかかる問い合わせは、「6. テスト実施にあたっての連絡先」における「JPXサービスデスク宛」をお願いいたします。

2. 休日テストの実施に向けた事前準備作業

➤ 現物清算業務でFTPサイトをご利用いただくための事前準備

- 新しい現物清算システム稼働後は、日々・定時点で取得することが想定される帳票データについて、CMFWeb端末を介した取得及びシステム直結による取得に加え、FTPサイトを介したファイル配信サービスを利用することができます。→[参考別紙 1. 参照](#)
- 参加者様の現在のFTPサイトの利用状況及び今後の利用予定有無により、FTPサイトの利用申請要否が異なります。下記をご参照ください。

#	参加者様の利用状況	FTPサイトの利用申請	
		要否	説明
1	既に派生清算業務や担保管理業務でFTPサイトを利用している場合	不要	<ul style="list-style-type: none"> • 特段追加で申請をいただく必要はありません。 ⇒休日テスト時に、FTPサイトからの現物清算業務にかかるデータが取得できることをご確認ください。
2	新しい現物清算システム稼働を機に、新たにFTPサイトを利用する場合	必要	<ul style="list-style-type: none"> • FTPサイトの利用申請を行ってください。 ⇒申請受付後に設定作業をいたします。設定作業完了以降の休日テストにおいて、FTPサイトが利用可能となります。 ⇒利用申請方法につきましては、Target-JSCCサイトの、株式等の決済期間短縮化（T+2化）プロジェクト関連ドキュメント / 接続仕様書等に掲載の『システム管理担当者マニュアル』の「6. FTPサイトの利用について」をご参照ください。 ※RT1（サイクル2）でご利用いただくためには、2018年12月7日（金）までに申請いただく必要がございますので、ご注意ください。
3	今後もFTPサイトの利用を予定していない場合	不要	<ul style="list-style-type: none"> • 特段に手続きをいただく必要はありません。

2. 休日テストの実施に向けた事前準備作業

➤ ほふりにおける事前接続確認テストへのご参加のお願い

- 業務確認テストおよびRTのDay3においては、証券保管振替機構（ほふり）においてT+ 2 制度施行後 3 営業日目を想定した決済が滞りなく処理できるか、という確認観点あり、テスト日当日にほふりシステム（テスト環境）をご利用いただくことが想定されますので、11月26日（月）～11月30日（金）の間に実施を予定しているほふりの事前接続確認テストへご参加くださいますようお願いいたします。
- 事前接続確認テストの内容については、「休日テスト（業務確認テスト／総合運転試験（RT））に関する「実施手順書」〈全体編〉」の20ページ、および「休日テスト（業務確認テスト／総合運転試験（RT））に関する「実施手順書」〈カスタマーサイド（CS）〉」の5ページをご参照ください。

3. 休日テストへの参加申込及び結果報告について

➤ 休日テストへの参加申込みについて

- 別添1の「休日テスト（業務確認／RT_ストリートサイド（SS））参加申込書」に必要事項をご記入のうえ、下記のとおり2018年11月22日(木)までにご提出をお願いします。
- 特に、**RT1（サイクル2）につきましては、全現物清算参加者様の参加を原則必須としております。**下記2点にご留意のうえ、お申込みください。

① Day2（1月27日(日)）及びDay3（2月10日(日)）については、全現物清算参加者様とも参加必須となりますので、参加有無欄の○は削除できないフォーマットとなっております。

② Day1（1月13日(日)）又はDay4（2月24日(日)）については、RT1（サイクル2）における確認観点をそれ以外の日程（Day2、Day3等）ですべて代替的に確認される予定である場合には、不参加をご選択する（○を削除し、空欄とする）ことでも差支えございませんが、本番稼働日程と同様のスケジュールをご確認いただく観点からは、極力、すべての日程へのご参加の検討をお願いします。

参加者	提出書類	提出先	提出方法	期日
SS	休日テスト（業務確認／RT_ストリートサイド（SS））参加申込書	JSCC	Target-JSCC サイト	2018年11月22日(木)

3. 休日テストへの参加申込及び結果報告について

➤ 休日テスト実施報告書について

- 別添2の「休日テスト（業務確認／RT_ストリートサイド（SS））結果報告書」に必要事項をご記入のうえ、下記のとおり各サイクルの最終テスト日の終了から3営業日以内にご提出をお願いします。
- **「RT1(サイクル2)」（2019年1月12日～2月24日）については、全現物清算参加者様に、T+2化に係るシステム対応の適切性及び事務処理の習熟等を新しい現物清算システムを用いて総合的にご確認いただきますので、同テスト結果報告書を必ず2月27日までにご提出いただくこととなります。**
- また、仮にRT1(サイクル2)において同テスト結果報告書の実施結果欄が○となっていない場合には、RT2(サイクル3)に必ず再度ご参加いただき、テストの実施を行っていただくこととなりますのでご注意ください。

参加者	提出書類	サイクル	提出者	提出先	提出方法	期日
SS	休日テスト（業務確認／RT_ストリートサイド（SS））結果報告書	事前確認テスト（サイクル1）	サイクルに参加した現物清算参加者	JSCC	Target-JSCCサイト	2018年12月27日（木）
		RT1(サイクル2)	全現物清算参加者			2019年2月27日（水）
		RT2（サイクル3）	サイクルに参加した現物清算参加者			2019年4月10日（水）
		RT3（サイクル4）	サイクルに参加した現物清算参加者			2019年6月19日（水）

4 .業務確認テスト及びRTに係る個別手順

4.業務確認テスト及びRTに係る個別手順

- 次頁以降で業務確認テスト及びRTに係る個別手順をお示しします。
- 休日テストにご参加いただくにあたり、参加者様におかれましては、本資料に加えて、「休日テスト（業務確認テスト／総合運転試験（RT））に関する「実施手順書」〈全体編〉」及び「参考別紙 1.休日テストに関連するシステム変更概要」もあわせてご覧ください。

(1) 業務確認テスト (サイクル1)

4. (1) 業務確認テスト (サイクル1)

【テスト概要】

- 業務確認テスト (サイクル1) はRT1の事前確認の位置付けとしておりますが、新しい現物清算システムの操作訓練も兼ねることから、参加者様におかれましては、特に積極的にご参加いただきますようお願いいたします。

(i) テストの目的

- T+2化及び現物清算システムリプレースのそれぞれの観点で以下を目的としてテストを行います。

項目	#	テスト目的	対象者
T+2化	1	・ T+2化制度施行後の株式等の決済事務を継続的に滞りなく実施できること	全現物清算参加者様
	2	・ T+2化初回受渡日に発生するT+3/T+2取引の2営業日分の決済事務を滞りなく実施できること	
現物清算 リプレース	3	・ 新しい現物清算システムを用いて株式等の決済事務を滞りなく実施できること	現物清算参加者のうち FTPサイトを利用する参加者様(※1) 現物清算参加者のうち 直結接続する参加者様(※2)
	4	・ FTPサイトを介して帳票データが取得できること	
	5	・ 現物清算システムとシステム間接続 (システム直結接続) を行う場合においても、リプレース後も問題なく業務処理が行えること	

(※1) 現物清算業務でFTPサイトを利用しない参加者様におかれましては特段のテストは不要です。

(※2) 新しい現物清算システムと直結接続しない参加者様におかれましては特段のテストは不要です。

4. (1) 業務確認テスト (サイクル1)

(ii) テスト実施環境

- 業務確認テスト (サイクル1) のインフラが提供するテスト実施環境は以下のとおりです。

インフラが提供するテスト実施環境		
JSCC	システム環境	本番環境
	対象システム	現物清算システム、SSO/ポータル、FTPサイト ※ 派生清算システム、担保管理システムは利用できません。
ほふり	システム環境	テスト環境
	対象システム	決済照合システム、株式等口座振替サブシステム ※ 上記以外のシステムについては、利用できません。

(iii) テスト実施日など

- 業務確認テスト (サイクル1) のテスト実施日、システム運用日付などは以下のとおりです。Day0はJSCCはテスト実施はございませんのでご注意ください。

	休日テスト	実施日	システム運用日付	必須 /任意	システム稼働時間帯	
					JSCC	ほふり
Day0	稼働前営業日想定	2018年12月8日(土)	2018年12月7日(金)	—	テスト実施なし	9:00~ 17:00
Day1	稼働日想定	2018年12月9日(日)	2018年12月10日(月)	任意	9:00~ 17:00	
Day2	稼働2日目想定	2018年12月16日(日)	2018年12月11日(火)	任意		
Day3	稼働3日目想定 (T+2化初回受渡日)	2018年12月23日(日)	2018年12月12日(水)	任意		

4. (1) 業務確認テスト (サイクル1)

(iv) 現物清算システムから見た関連システム・関連機関との接続について

- 現物清算システムから見た関連システム・関連機関との各テスト日における接続有無は以下のとおりです。

休日テスト		テスト実施日	関連システムとの接続有無					
			arrowhead/ ToSTNeT	日証金 (※3)	PTS (※4)	ほふり	日銀	TMI (※6)
Day1	稼働日想定	2018年12月9日(日)	× (※1)	×	×	×	×	×
Day2	稼働2日目想定	2018年12月16日(日)				×		
Day3	稼働3日目想定 (T+2化初回受渡日)	2018年12月23日(日)	○ (※2)			○		

- (※1) Day1はarrowhead/ToSTNeTとは接続せず、現物清算システム側で過去の本番約定データ (Day3の決済向けに、稼働前営業日約定想定 (2018年11月15日 (木)) 及び稼働日約定想定 (2018年11月16日 (金)) の本番約定データ) に対してシステム運用日付を修正したものを投入します。なお、Day2は約定データの投入は行いません。
- (※2) Day3はarrowhead/ToSTNeTと接続しますので、休日テストにおいてarrowhead/ToSTNeTで約定したデータが現物清算システムに連携されますので、清算引受明細等でご確認いただくことが可能です。
- (※3) Day1～3いずれの日程においても日証金と現物清算システムは接続いたしません。ただし、Day3の決済向けの貸借・品貸データについては、日証金から受信した過去の本番貸借・品貸データ (「T+3決済分：2018年11月15日(木)の貸借申込みに係る貸借・品貸データ」と「T+2決済分：2018年11月16日(金)貸借申込に係る貸借・品貸データ」) に対して、決済日付をDay3向けに修正・合算したものをDay2に現物清算システム側で投入します。なお、貸借値段・決済金額については各日の本番データの値をそのまま利用します。
- (※4) Day1～3いずれの日程においてもPTSと現物清算システムは接続いたしません。なお、Day1は現物清算側で過去の本番約定データ (※1と同様の投入方法) に対してシステム運用日付を修正したデータを投入します。Day2、Day3は約定データの投入は行いません。
- (※5) JSCCからほふりに対して、Day3 (初回受渡日) 向けの前日振替請求を送信します。
- (※6) 休日テスト時のTMI配信データの取り扱いの詳細については、「(別冊) TMIユーザ向けテストのご案内」を参照ください。

4. (1) 業務確認テスト (サイクル1)

【各テスト実施日の運行スケジュール】

- 各テスト実施日の運行スケジュールについては、全体編の別紙「休日テスト時のタイムチャート」をご参照ください。

【業務確認テスト時における留意事項】

- 業務確認テスト (サイクル1) における留意事項は以下のとおりです。

項目	#	留意事項
T+2化	1	<ul style="list-style-type: none"> Day1、Day2は現物清算システムとほふりは接続しませんので、JSCCと参加者様の間での証券決済は発生しません。
	2	<ul style="list-style-type: none"> 資金決済事務に変更はないため、Day1～Day3のいずれの日程においてもJSCCと参加者様の間での資金決済事務確認は行いません。(参加者様による資金決済銀行とのやり取り、日銀ネットを利用した振替事務などは不要です。)
現物清算 リプレース	3	<ul style="list-style-type: none"> SSO/ポータルへのログインID/パスワードは、Day1実施の直前営業日である2018年12月7日(金)の本番業務のオンライン終了時点のものを引継ぎます。 ※サイクル1の期間中 (Day1～Day3) はログインID/パスワードが引き継がれます (休日テスト期間中に追加・削除・変更したものは、サイクル1のテストの中では引き継がれますが、休日テスト後の本番業務及び次サイクル以降の休日テストには引き継がれません。)

4. (1) 業務確認テスト (サイクル1)

【業務確認テストで参加者様にご確認いただきたい事項 (T+2)】

- T+2化に係る各テスト実施日における参加者様にご確認いただきたい事項は以下のとおりです。各参加者様におかれましては、「別紙 休日テスト時の確認内容 (チェックリスト)」をご参照いただき、テストの実施をお願いします。

テスト実施日	Day0	Day1	Day2	Day3	
対象日	稼働前営業日 想定	稼働日想定	稼働2日目想定	稼働3日目想定 (= T+2化初回受渡日)	
テスト日	—	2018年12月9日(日)	2018年12月16日(日)	2018年12月23日(日)	
システム 運用日付	—	2018年12月10日(月)	2018年12月11日(火)	2018年12月12日(水)	
稼働前営業日 想定 の約定 (T+3決済)	—	(a) Day0の債務引受データ (株式等)の確認		(f) Day3向けの決済 予定データ①の確認	決済事務の確認
		(d) (e) Day1特有の各種帳 票データの確認 (清算引受明 細 (貸借) 照会、銘柄別決済 予定数量照会)		(g) Day3向けの決済 予定データ②の確認	(i) 有価証券の引渡し・ 受領の確認
稼働日 想定 の約定 (T+2決済)	—	(b) Day1の債務引受データ (株式等)の確認		(h) 貸借申込分に係 る清算引受明細データ の確認	(j) フェイル・被フェイ ルの確認
		(c) Day1の各サマリデータ (株式等)の確認		(k) 資金決済情報・追加支 払通知の確認	
—	—	(m) 銘柄別受領順位劣後申告の操作確認 【任意：当該申告機能を利用される参加者様のみ】			(l) フェイル情報 (ネッ ティング後)の確認

※データ配信時刻、確認方法、確認観点等の詳細は、「別紙 休日テスト時の確認内容 (チェックリスト)」参照

4. (1) 業務確認テスト (サイクル1)

【業務確認テストで参加者様にご確認いただきたい事項 (現物清算システムリプレース)】

- 現物清算システムリプレースに係る各テスト実施日における参加者様にご確認いただきたい事項は以下のとおりです。各参加者様におかれましては、「別紙 休日テスト時の確認内容 (チェックリスト)」をご参照いただき、テストの実施をお願いします。

#	テスト項目	対象者
1	・ 新しい現物清算システムへのログイン確認	現物清算参加者全社
2	・ CMFWeb端末の動作確認	
3	・ FTPサイトを介して現物清算業務に係る帳票データが取得できること	現物清算参加者のうち FTPサイトを利用する参加者様(*1)
4	・ 現物清算システムとシステム間接続 (システム直結接続) で現物清算業務に係るデータ取得ができること	現物清算参加者のうち 直結接続する参加者様(*2)

(*1) Target-JSCCサイトの、株式等の決済期間短縮化 (T+2化) プロジェクト関連ドキュメント / 接続仕様書等に掲載の『FTPサイト接続仕様書_株式決済期間短縮対応版』をご参照ください。なお、現物清算業務でFTPサイトを利用しない参加者様におかれましては特段のテストは不要です。

(*2) Target-JSCCサイトの、株式等の決済期間短縮化 (T+2化) プロジェクト関連ドキュメント / 接続仕様書等に掲載の『清算参加者 - 現物清算システム 直結接続仕様書』をご参照ください。なお、新しい現物清算システムと直結接続しない参加者様におかれましては特段のテストは不要です。

(2) RT1 (サイクル2)

5. (2) RT1 (サイクル2)

【テスト概要】

- RT1 (サイクル2) の主な目的は、T+2化に係るシステム対応の適切性及び事務処理の習熟を総合的にご確認いただくことですが、加えてJSCCでは、T+2化に合わせて現物清算システムのリプレースを予定していることから、JSCC現物清算参加者につきましては、現物清算リプレースのテスト目的につきましてもお留意のほどお願いいたします。

(i) テストの目的

- T+2化及び現物清算システムリプレースのそれぞれの観点で以下を目的としてテストを行います。

項目	#	テスト目的	対象者
T+2化	1	・ T+2化制度施行後の株式等の決済事務を継続的に滞りなく実施できること	全現物清算参加者様
	2	・ T+2化初回受渡日に発生するT+3/T+2取引の2営業日分の決済事務を滞りなく実施できること	
現物清算 リプレース	3	・ 新しい現物清算システムを用いて株式等の決済事務を滞りなく実施できること	
	4	・ FTPサイトを介して帳票データが取得できること	現物清算参加者のうち FTPサイトを利用する参加者様(※1)
	5	・ 現物清算システムとシステム間接続（システム直結接続）を行う場合においても、リプレース後も問題なく業務処理が行えること	現物清算参加者のうち 直結接続する参加者様(※2)

(※1) 現物清算業務でFTPサイトを利用しない参加者様におかれましては特段のテストは不要です。

(※2) 新しい現物清算システムと直結接続しない参加者様におかれましては特段のテストは不要です。

4. (1) RT1 (サイクル2)

(ii) テスト実施環境

- RT1 (サイクル2) のインフラが提供するテスト実施環境は以下のとおりです。

インフラが提供するテスト実施環境		
JSCC	システム環境	本番環境
	対象システム	現物清算システム、SSO/ポータル、FTPサイト ※ 派生清算システム、担保管理システムは利用できません。 ※ RT1(2サイクル目)のDay4については、FTPサイトを非公開とさせていただきます。
ほふり	システム環境	テスト環境
	対象システム	決済照合システム、株式等口座振替サブシステム ※ 上記以外のシステムについては、利用できません。

(iii) テスト実施日など

- RT1 (サイクル2) のテスト実施日、システム運用日付などは以下のとおりです。Day0はJSCCはテスト実施はございませんのでご注意ください。

	休日テスト	実施日	システム運用日付	必須/ 任意	システム稼働時間帯	
					JSCC	ほふり
Day0	稼働前営業日想定	2019年1月12日(土)	2019年1月11日(金)	—	テスト実施なし	
Day1	稼働日想定	2019年1月13日(日)	2019年1月15日(火)	必須 (※)	9:00~ 17:00	9:00~ 17:00
Day2	稼働2日目想定	2019年1月27日(日)	2019年1月16日(水)	必須		
Day3	稼働3日目想定 (T+2化初回受渡日)	2019年2月10日(日)	2019年1月17日(木)	必須		
Day4	稼働4日目想定	2019年2月24日(日)	2019年1月18日(金)	必須 (※)		

(※) Day1又はDay4については、RT1 (サイクル2) における確認観点をそれ以外の日程 (Day 2、Day3等) ですべて代替的に確認される予定である場合には、不参加でも差支えございませんが、本番稼働日程と同様のスケジュールをご確認いただく観点からは、極力、すべての日程へのご参加の検討をお願いします。

4. (1) RT1 (サイクル2)

(iv) 現物清算システムから見た関連システム・関連機関との接続について

- 現物清算システムから見た関連システム・関連機関との各テスト日における接続有無は以下のとおりです。

休日テスト	実施予定日	関連システムとの接続有無						
		arrowhead / ToSTNeT	日証金 (※3)	PTS (※4)	ほふり	日銀	TMI (※6)	
Day1	稼働日想定	2019年1月13日 (日)	× (※1)	×	×	×	×	×
Day2	稼働2日目想定	2019年1月27日 (日)				×		
Day3	稼働3日目想定 (T+2化初回受渡日)	2019年2月10日 (日)	○ (※2)			○		
Day4	稼働4日目想定	2019年2月24日 (日)	× (※1)					

- (※1) Day1及びDay2はarrowhead/ToSTNeTとは接続せず、現物清算システム側で過去の本番約定データ(Day1:Day3の決済向けに、稼働前営業日約定想定(2018年12月20日(木))及び稼働日約定想定(12月21日(金))の本番約定データ)、Day2:Day4の決済向けに稼働2日目約定想定(2018年12月25日(火))の本番約定データ)に対してシステム運用日付を修正したデータを投入します。なお、Day4は約定データの投入は行いません。
- (※2) Day3はarrowhead/ToSTNeTと接続しますので、休日テストにおいてarrowhead/ToSTNeTで約定したデータが現物清算システムに連携されますので、清算引受明細等でご確認いただくことが可能です。
- (※3) Day1~4いずれの日程においても日証金と現物清算システムは接続いたしません。ただし、Day3の決済向けの貸借・品貸データについては、日証金から受信した過去の本番貸借・品貸データ(「T+3決済分:2018年12月20日(木)の貸借申込みに係る貸借・品貸データ」と「T+2決済分:2018年12月21日(金)貸借申込に係る貸借・品貸データ」)に対して、決済日付をDay3向けに修正・合算したものをDay2に現物清算システム側で投入します。同様に、Day4の決済向けの貸借・品貸データについては、日証金から受信した過去の本番貸借・品貸データ(「T+2決済:2018年12月25日(火)貸借申込に係る貸借・品貸データ」)に対して、決済日付をDay4向けに修正・合算したものをDay3に現物清算システム側で投入します。なお、貸借値段・決済金額については各日の本番データの値をそのまま利用します。
- (※4) Day1~4いずれの日程においてもPTSと現物清算システムは接続いたしません。なお、Day1、Day2は現物清算側で過去の本番約定データ(※1と同様の投入方法)に対してシステム運用日付を修正したデータを投入します。Day3、Day4は約定データの投入は行いません。
- (※5) JSCCからほふりに対して、Day3(初回受渡日)向けの前日振替請求を送信します。
- (※6) 休日テスト時のTMI配信データの取り扱いの詳細については、「(別冊) TMIユーザ向けテストのご案内」を参照ください。

4. (1) RT1 (サイクル2)

【各テスト実施日の運行スケジュール】

- 各テスト実施日の運行スケジュールについては、全体編の別紙「休日テスト時のタイムチャート」をご参照ください。

【RT1における留意事項】

- RT1 (サイクル2) における留意事項は以下のとおりです。

項目	#	留意事項
T+2化	1	<ul style="list-style-type: none"> Day1、Day2は現物清算システムとほふりは接続しませんので、JSCCと参加者様の間での証券決済は発生しません。
	2	<ul style="list-style-type: none"> 資金決済事務に変更はないため、Day1～Day4のいずれの日程においてもJSCCと参加者様の間での資金決済事務確認は行いません。（参加者様による資金決済銀行とのやり取り、日銀ネットを利用した振替事務などは不要です。）
現物清算 リプレース	3	<ul style="list-style-type: none"> SSO/ポータルへのログインID/パスワードは、Day1実施の直前営業日である2019年1月11日(金)の本番業務のオンライン終了時点のものを引継ぎます。 ※サイクル2の期間中（Day1～Day4）はログインID/パスワードが引き継がれます（休日テスト期間中に追加・削除・変更したものは、サイクル2のテストの中では引き継がれますが、休日テスト後の本番業務及び次サイクル以降の休日テストには引き継がれません。）。

4. (1) RT1 (サイクル2)

【RT1で参加者様にご確認いただきたい事項 (T+2)】

- T+2化に係る各テスト実施日における参加者様にご確認いただきたい事項は以下のとおりです。各参加者様におかれましては、「別紙 休日テスト時の確認内容 (チェックリスト)」をご参照いただき、テストの実施をお願いします。

テスト実施日	Day0	Day1	Day2	Day3	Day4	
対象日	稼働前営業日想定	稼働日想定	稼働2日目想定	稼働3日目想定 (=T+2化初回受渡日)	稼働4日目想定	
テスト日	-	2019年1月13日(日)	2019年1月27日(日)	2019年2月10日(日)	2019年2月24日(日)	
システム運用日付	-	2019年1月15日(火)	2019年1月16日(水)	2019年1月17日(木)	2019年1月18日(金)	
稼働前営業日 想定 の約定 (T+3決済)	-	(a) Day0の債務引受データ (株式等) の確認		(f) Day3向けの決済予定データ①の確認	決済事務の確認 (i) 有価証券の引渡し・受領の確認 (j) フェイル・被フェイルの確認 (k) 資金決済情報・追加支払通知の確認 (l) フェイル情報 (ネットティング後) の確認	決済事務の確認 (o) (i)(j)(k)(l)と同観点
		(d)(e) Day1特有の各種帳票データの確認 (清算引受明細 (貸借) 照会、銘柄別決済予定数量照会)		(g) Day3向けの決済予定データ②の確認		
稼働日想定 の約定 (T+2決済)	-	(b) Day1の債務引受データ (株式等) の確認		(h) 貸借申込分に係る清算引受明細データの確認	前決済日 (n) ※Day4向け (f)(g)(h)と同観点	
		(c) Day1の各サマリデータ (株式等) の確認				
-	-	(m) 銘柄別受領順位劣後申告の操作確認 【任意：当該申告機能を利用される参加者様のみ】				

※データ配信時刻、確認方法、確認観点等の詳細は、「別紙 休日テスト時の確認内容 (チェックリスト)」参照

4. (1) RT1 (サイクル2)

【RT1で参加者様にご確認いただきたい事項（現物清算システムリプレース）】

- 現物清算システムリプレースに係る各テスト実施日における参加者様にご確認いただきたい事項は以下のとおりです。各参加者様におかれましては、「別紙 休日テスト時の確認内容（チェックリスト）」をご参照いただき、テストの実施をお願いします。

#	テスト項目	対象者
1	・ 新しい現物清算システムへのログイン確認	全現物清算参加者様
2	・ CMFWeb端末の動作確認	
3	・ FTPサイトを介して現物清算業務に係る帳票データが取得できること	現物清算参加者のうち FTPサイトを利用する参加者様(*1)
4	・ 現物清算システムとシステム間接続（システム直結接続）で現物清算業務に係るデータ取得ができること	現物清算参加者のうち 直結接続する参加者様(*2)

(*1) Target-JSCCサイトの、株式等の決済期間短縮化（T+2化）プロジェクト関連ドキュメント / 接続仕様書等に掲載の『FTPサイト接続仕様書_株式決済期間短縮対応版』をご参照ください。なお、現物清算業務でFTPサイトを利用しない参加者様におかれましては特段のテストは不要です。

(*2) Target-JSCCサイトの、株式等の決済期間短縮化（T+2化）プロジェクト関連ドキュメント / 接続仕様書等に掲載の『清算参加者 – 現物清算システム 直結接続仕様書』をご参照ください。なお、新しい現物清算システムと直結接続しない参加者様におかれましては特段のテストは不要です。

(3) RT2 (サイクル3)

4. (3) RT2 (サイクル3)

【テスト概要】

- RT1の確認結果を踏まえ、システム対応の適切性及び事務処理の習熟を再確認いただくことを目的として以下の日時にテストを実施いたします。

(i) テストの目的

- T+2化及び現物清算システムリプレースのそれぞれの観点で以下を目的としてテストを行います。

項目	#	テスト目的	対象者
T+2化	1	・ T+2化制度施行後の株式等の決済事務を継続的に滞りなく実施できること	全現物清算参加者様
	2	・ T+2化初回受渡日に発生するT+3/T+2取引の2営業日分の決済事務を滞りなく実施できること	
現物清算 リプレース	3	・ 新しい現物清算システムを用いて株式等の決済事務を滞りなく実施できること	現物清算参加者のうち FTPサイトを利用する参加者様(※1) 現物清算参加者のうち 直結接続する参加者様(※2)
	4	・ FTPサイトを介して帳票データが取得できること	
	5	・ 現物清算システムとシステム間接続（システム直結接続）を行う場合においても、リプレース後も問題なく業務処理が行えること	

(※1) 現物清算業務でFTPサイトを利用しない参加者様におかれましては特段のテストは不要です。

(※2) 新しい現物清算システムと直結接続しない参加者様におかれましては特段のテストは不要です。

4. (3) RT2 (サイクル3)

(ii) テスト実施環境

- RT2 (サイクル3) のインフラが提供するテスト実施環境は以下のとおりです。

インフラが提供するテスト実施環境		
JSCC	システム環境	本番環境
	対象システム	現物清算システム、SSO/ポータル、FTPサイト 担保管理システム (Day1のみ接続可能です。WebPortal 及び WebPortal+にて現物清算の当初証拠金通常所要額の値が確認可能です。) ※ 派生清算システムは利用できません。また、Day2、3において担保管理システムは利用できません。
ほぶり	システム環境	テスト環境
	対象システム	決済照合システム、株式等口座振替サブシステム ※ 上記以外のシステムについては、利用できません。

(iii) テスト実施日など

- RT2 (サイクル3) のテスト実施日、システム運用日付などは以下のとおりです。Day0はJSCCはテスト実施はございませんのでご注意ください。

	休日テスト	実施日	システム運用日付	必須 /任意	システム稼働時間帯	
					JSCC	ほぶり
Day0	稼働前営業日想定	2019年3月2日(土)	2019年3月1日(金)	—	テスト実施なし	9:00~ 17:00
Day1	稼働日想定	2019年3月3日(日)	2019年3月4日(月)	任意	9:00~ 17:00	
Day2	稼働2日目想定	2019年3月17日(日)	2019年3月5日(火)	任意		
Day3	稼働3日目想定 (T+2化初回受渡日)	2019年4月7日(日)	2019年3月6日(水)	任意		

4. (3) RT2 (サイクル3)

(iv) 現物清算システムから見た関連システム・関連機関との接続について

- 現物清算システムから見た関連システム・関連機関との各テスト日における接続有無は以下のとおりです。

休日テスト	テスト実施日	関連システムとの接続有無						
		arrowhead/ ToSTNeT	日証金 (※3)	PTS (※4)	ほふり	日銀	TMI (※6)	
Day1	稼働日想定	2019年3月3日(日)	× (※1)	×	×	×	×	×
Day2	稼働2日目想定	2019年3月17日(日)				×		
Day3	稼働3日目想定 (T+2化初回受渡日)	2019年4月7日(日)	○ (※2)			○		

- (※1) Day1はarrowhead/ToSTNeTとは接続せず、現物清算システム側で過去の本番約定データ（Day3の決済向けに、稼働前営業日約定想定（2019年2月7日（木））及び稼働日約定想定（2019年2月8日（金））の本番約定データ）に対してシステム運用日付を修正したデータを投入します。なお、Day2は約定データの投入は行いません。
- (※2) Day3はarrowhead/ToSTNeTと接続しますので、休日テストにおいてarrowhead/ToSTNeTで約定したデータが現物清算システムに連携されますので、清算引受明細等でご確認いただくことが可能です。
- (※3) Day1～3いずれの日程においても日証金と現物清算システムは接続いたしません。ただし、Day3の決済向けの貸借・品貸データについては、日証金から受信した過去の本番貸借・品貸データ（「T+3決済分：2019年2月7日(木)の貸借申込みに係る貸借・品貸データ」と「T+2決済分：2019年2月8日(金)貸借申込に係る貸借・品貸データ」）に対して、決済日付をDay3向けに修正・合算したものをDay2に現物清算システム側で投入します。なお、貸借値段・決済金額については各日の本番データの値をそのまま利用します。
- (※4) Day1～3いずれの日程においてもPTSと現物清算システムは接続いたしません。なお、Day1は現物清算側で過去の本番約定データに（※1と同様の投入方法）対してシステム運用日付を修正したデータを投入します。Day2、Day3は約定データの投入は行いません。
- (※5) JSCCからほふりに対して、Day3（初回受渡日）向けの前日振替請求を送信します。
- (※6) 休日テスト時のTMI配信データの取り扱いの詳細については、「（別冊）TMIユーザ向けテストのご案内」を参照ください。

4. (3) RT2 (サイクル3)

【各テスト実施日の運行スケジュール】

- 各テスト実施日の運行スケジュールについては、全体編の別紙「休日テスト時のタイムチャート」をご参照ください。

【RT2における留意事項】

- RT2 (サイクル3) における留意事項は以下のとおりです。

項目	#	留意事項
T+2化	1	<ul style="list-style-type: none"> Day1、Day2は現物清算システムとほふりは接続しませんので、JSCCと参加者様の間での証券決済は発生しません。
	2	<ul style="list-style-type: none"> 資金決済事務に変更はないため、Day1～Day3のいずれの日程においてもJSCCと参加者様の間での資金決済事務確認は行いません。（参加者様による資金決済銀行とのやり取り、日銀ネットを利用した振替事務などは不要です。）
現物清算 リプレース	3	<ul style="list-style-type: none"> SSO/ポータルへのログインID/パスワードは、Day1実施の直前営業日である2019年3月1日（金）の本番業務のオンライン終了時点のものを引継ぎます。 ※サイクル3の期間中（Day1～Day3）はログインID/パスワードが引き継がれます（休日テスト期間中に追加・削除・変更したものは、サイクル3のテストの中では引き継がれますが、休日テスト後の本番業務及び次サイクル以降の休日テストには引き継がれません。）。

4. (3) RT2 (サイクル3)

【RT2で参加者様にご確認いただきたい事項 (T+2)】

- T+2化に係る各テスト実施日における参加者様にご確認いただきたい事項は以下のとおりです。各参加者様におかれましては、「別紙 休日テスト時の確認内容 (チェックリスト)」をご参照いただき、テストの実施をお願いします。

テスト実施日	Day0	Day1	Day2	Day3		
対象日	稼働前営業日 日想定	稼働日想定	稼働2日目想定	稼働3日目想定 (= T+2化初回受渡日)		
テスト日	—	2019年3月3日(日)	2019年3月17日(日)	2019年4月7日(日)		
システム 運用日付	—	2019年3月4日(月)	2019年3月5日(火)	2019年3月6日(水)		
稼働前営業日 想定 の約定 (T+3決済)	—	(a) Day0の債務引受データ (株式等)の確認	▶	(f) Day3向けの決済 予定データ①の確認	▶	決済事務の確認
		(d)(e) Day1特有の各種帳 票データの確認 (清算引受明 細 (貸借) 照会、銘柄別決済 予定数量照会)		(g) Day3向けの決済 予定データ②の確認		(i) 有価証券の引渡し・ 受領の確認
稼働日 想定 の約定 (T+2決済)	—	(b) Day1の債務引受データ (株式等)の確認		(h) 貸借申込分に係 る清算引受明細データ の確認		(j) フェイル・被フェイ ルの確認
		(c) Day1の各サマリデータ (株式等)の確認		(k) 資金決済情報・追加支 払通知の確認		
—	—	(m) 銘柄別受領順位劣後申告の操作確認 【任意：当該申告機能を利用される参加者様のみ】				(l) フェイル情報 (ネッ ティング後)の確認

※データ配信時刻、確認方法、確認観点等の詳細は、「別紙 休日テスト時の確認内容 (チェックリスト)」参照

4. (3) RT2 (サイクル3)

【RT2で参加者様にご確認いただきたい事項（現物清算システムリプレース）】

- 現物清算システムリプレースに係る各テスト実施日における参加者様にご確認いただきたい事項は以下のとおりです。各参加者様におかれましては、「別紙 休日テスト時の確認内容（チェックリスト）」をご参照いただき、テストの実施をお願いします。

#	テスト項目	対象者
1	・ 新しい現物清算システムへのログイン確認	全現物清算参加者様
2	・ CMFWeb端末の動作確認	
3	・ FTPサイトを介して現物清算業務に係る帳票データが取得できること	現物清算参加者のうち FTPサイトを利用する参加者様(*1)
4	・ 現物清算システムとシステム間接続（システム直結接続）で現物清算業務に係るデータ取得ができること	現物清算参加者のうち 直結接続する参加者様(*2)

(*1) Target-JSCCサイトの、株式等の決済期間短縮化（T+2化）プロジェクト関連ドキュメント / 接続仕様書等に掲載の『FTPサイト接続仕様書_株式決済期間短縮対応版』をご参照ください。なお、現物清算業務でFTPサイトを利用しない参加者様におかれましては特段のテストは不要です。

(*2) Target-JSCCサイトの、株式等の決済期間短縮化（T+2化）プロジェクト関連ドキュメント / 接続仕様書等に掲載の『清算参加者 – 現物清算システム 直結接続仕様書』をご参照ください。なお、新しい現物清算システムと直結接続しない参加者様におかれましては特段のテストは不要です。

(4) RT3 (サイクル4)

4. (4) RT3 (サイクル4)

【テスト概要】

- 積み残し事項の確認や、事務処理の一層の習熟目的での利用を想定し、以下の日時でテストを実施いたします。

(i) テストの目的

- T+2化及び現物清算システムリプレースのそれぞれの観点で以下を目的としてテストを行います。

項目	#	テスト目的	対象者
T+2化	1	・ T+2化制度施行後の株式等の決済事務を継続的に滞りなく実施できること	全現物清算参加者様
	2	・ T+2化初回受渡日に発生するT+3/T+2取引の2営業日分の決済事務を滞りなく実施できること	
現物清算 リプレース	3	・ 新しい現物清算システムを用いて株式等の決済事務を滞りなく実施できること	現物清算参加者のうち FTPサイトを利用する参加者様(※1)
	4	・ FTPサイトを介して帳票データが取得できること	
	5	・ 現物清算システムとシステム間接続（システム直結接続）を行う場合においても、リプレース後も問題なく業務処理が行えること	

(※1) 現物清算業務でFTPサイトを利用しない参加者様におかれましては特段のテストは不要です。

(※2) 新しい現物清算システムと直結接続しない参加者様におかれましては特段のテストは不要です。

(ii) テスト実施環境

- RT2 (サイクル3) のインフラが提供するテスト実施環境は以下のとおりです。

インフラが提供するテスト実施環境		
JSCC	システム環境	本番環境
	対象システム	現物清算システム、SSO/ポータル、FTPサイト 担保管理システム (Day1のみ接続可能です。WebPortal 及び WebPortal+にて現物清算の当初証拠金通常所要額の値が確認可能です。) ※ 上場デリバ清算システムは利用できません。また、Day2、3において担保管理システムは利用できません。
ほぶり	システム環境	テスト環境
	対象システム	決済照合システム、株式等口座振替サブシステム ※ 上記以外のシステムについては、利用できません。

(iii) テスト実施日など

- RT2 (サイクル3) のテスト実施日、システム運用日付などは以下のとおりです。Day0はJSCCはテスト実施はございませんのでご注意ください。

	休日テスト	実施日	システム運用日付	必須 /任意	システム稼働時間帯	
					JSCC	ほぶり
Day0	稼働前営業日想定	2019年5月25日(土)	2019年5月24日(金)	-	テスト実施なし	9:00~ 17:00
Day1	稼働日想定	2019年5月26日(日)	2019年5月27日(月)	任意	9:00~ 17:00	
Day2	稼働2日目想定	2019年6月2日(日)	2019年5月28日(火)	任意		
Day3	稼働3日目想定 (T+2化初回受渡日)	2019年6月16日(日)	2019年5月29日(水)	任意		

4. (4) RT3 (サイクル4)

(iv) 現物清算システムから見た関連システム・関連機関との接続について

- 現物清算システムから見た関連システム・関連機関との各テスト日における接続有無は以下のとおりです。

休日テスト	テスト実施日	関連システムとの接続有無					
		arrowhead / ToSTNeT	日証金 (※3)	PTS (※4)	ほふり	日銀	TMI (※6)
Day1	稼働日想定	×			×		
Day2	稼働2日目想定	(※1)	×	×	(※5)	×	×
Day3	稼働3日目想定 (T+2化初回受渡日)	○ (※2)			○		

- (※1) Day1はarrowhead/ToSTNeTとは接続せず、現物清算システム側で過去の本番約定データ（Day3の決済向けに、稼働前営業日約定想定（2019年4月25日（木））及び稼働日約定想定（2019年4月26日（金））の本番約定データ）に対してシステム運用日付を修正したデータを投入します。なお、Day2は約定データの投入は行いません。
- (※2) Day3はarrowhead/ToSTNeTと接続しますので、休日テストにおいてarrowhead/ToSTNeTで約定したデータが現物清算システムに連携されますので、清算引受明細等でご確認いただくことが可能です。
- (※3) Day1～3いずれの日程においても日証金と現物清算システムは接続いたしません。ただし、Day3の決済向けの貸借・品貸データについては、日証金から受信した過去の本番貸借・品貸データ（「T+3決済分：2019年4月25日(木)の貸借申込みに係る貸借・品貸データ」と「T+2決済分：2019年4月26日(金)貸借申込に係る貸借・品貸データ」）に対して、決済日付をDay3向けに修正・合算したものをDay2に現物清算システム側で投入します。なお、貸借値段・決済金額については各日の本番データの値をそのまま利用します。
- (※4) Day1～3いずれの日程においてもPTSと現物清算システムは接続いたしません。なお、Day1は現物清算側で過去の本番約定データに（※1と同様の投入方法）に対してシステム運用日付を修正したデータを投入します。Day2、Day3は約定データの投入は行いません。
- (※5) JSCCからほふりに対して、Day3（初回受渡日）向けの前日振替請求を送信します。
- (※6) 休日テスト時のTMI配信データの取り扱いの詳細については、「（別冊）TMIユーザ向けテストのご案内」を参照ください。

4. (4) RT3 (サイクル4)

【各テスト実施日の運行スケジュール】

- 各テスト実施日の運行スケジュールについては、全体編の別紙「休日テスト時のタイムチャート」をご参照ください。

【RT3における留意事項】

- RT3 (サイクル4) における留意事項は以下のとおりです。

項目	#	留意事項
T+2化	1	<ul style="list-style-type: none"> Day1、Day2は現物清算システムとほふりは接続しませんので、JSCCと参加者様の間での証券決済は発生しません。
	2	<ul style="list-style-type: none"> 資金決済事務に変更はないため、Day1～Day3のいずれの日程においてもJSCCと参加者様の間での資金決済事務確認は行いません。（参加者様による資金決済銀行とのやり取り、日銀ネットを利用した振替事務などは不要です。）
現物清算 リプレース	3	<ul style="list-style-type: none"> SSO/ポータルへのログインID/パスワードは、Day1実施の直前営業日である2019年5月24日（金）の本番業務のオンライン終了時点のものを引継ぎます。 ※サイクル4の期間中（Day1～Day3）はログインID/パスワードが引き継がれます（休日テスト期間中に追加・削除・変更したものは、サイクル4のテストの中では引き継がれますが、休日テスト後の本番業務及び次サイクル以降の休日テストには引き継がれません。）。

4. (4) RT3 (サイクル4)

【RT3で参加者様にご確認いただきたい事項 (T+2)】

- T+2化に係る各テスト実施日における参加者様にご確認いただきたい事項は以下のとおりです。各参加者様におかれましては、「別紙 休日テスト時の確認内容 (チェックリスト)」をご参照いただき、テストの実施をお願いします。

テスト実施日	Day0	Day1	Day2	Day3		
対象日	稼働前営業日想定	稼働日想定	稼働2日目想定	稼働3日目想定 (= T+2化初回受渡日)		
テスト日	—	2019年5月26日(日)	2019年6月2日(日)	2019年6月16日(日)		
システム運用日付	—	2019年5月27日(月)	2019年5月28日(火)	2019年5月29日(水)		
稼働前営業日想定 の約定 (T+3決済)	—	(a) Day0の債務引受データ (株式等)の確認		(f) Day3向けの決済 予定データ①の確認	決 済 日	決済事務の確認
		(d)(e) Day1特有の各種帳 票データの確認 (清算引受明 細 (貸借) 照会、銘柄別決済 予定数量照会)		(g) Day3向けの決済 予定データ②の確認		(i) 有価証券の引渡し・ 受領の確認
稼働日想定 の約定 (T+2決済)	—	(b) Day1の債務引受データ (株式等)の確認		(h) 貸借申込分に係 る清算引受明細データ の確認		(j) フェイル・被フェイ ルの確認
		(c) Day1の各サマリデータ (株式等)の確認		(k) 資金決済情報・追加支 払通知の確認		
—	—	(m) 銘柄別受領順位劣後申告の操作確認 【任意：当該申告機能を利用される参加者様のみ】				

※データ配信時刻、確認方法、確認観点等の詳細は、「別紙 休日テスト時の確認内容 (チェックリスト)」参照

4. (4) RT3 (サイクル4)

【RT3で参加者様にご確認いただきたい事項（現物清算システムリプレース）】

- 現物清算システムリプレースに係る各テスト実施日における参加者様にご確認いただきたい事項は以下のとおりです。各参加者様におかれましては、「別紙 休日テスト時の確認内容（チェックリスト）」をご参照いただき、テストの実施をお願いします。

#	テスト項目	対象者
1	・ 新しい現物清算システムへのログイン確認	全現物清算参加者様
2	・ CMFWeb端末の動作確認	
3	・ FTPサイトを介して現物清算業務に係る帳票データが取得できること	現物清算参加者のうち FTPサイトを利用する参加者様(*1)
4	・ 現物清算システムとシステム間接続（システム直結接続）で現物清算業務に係るデータ取得ができること	現物清算参加者のうち 直結接続する参加者様(*2)

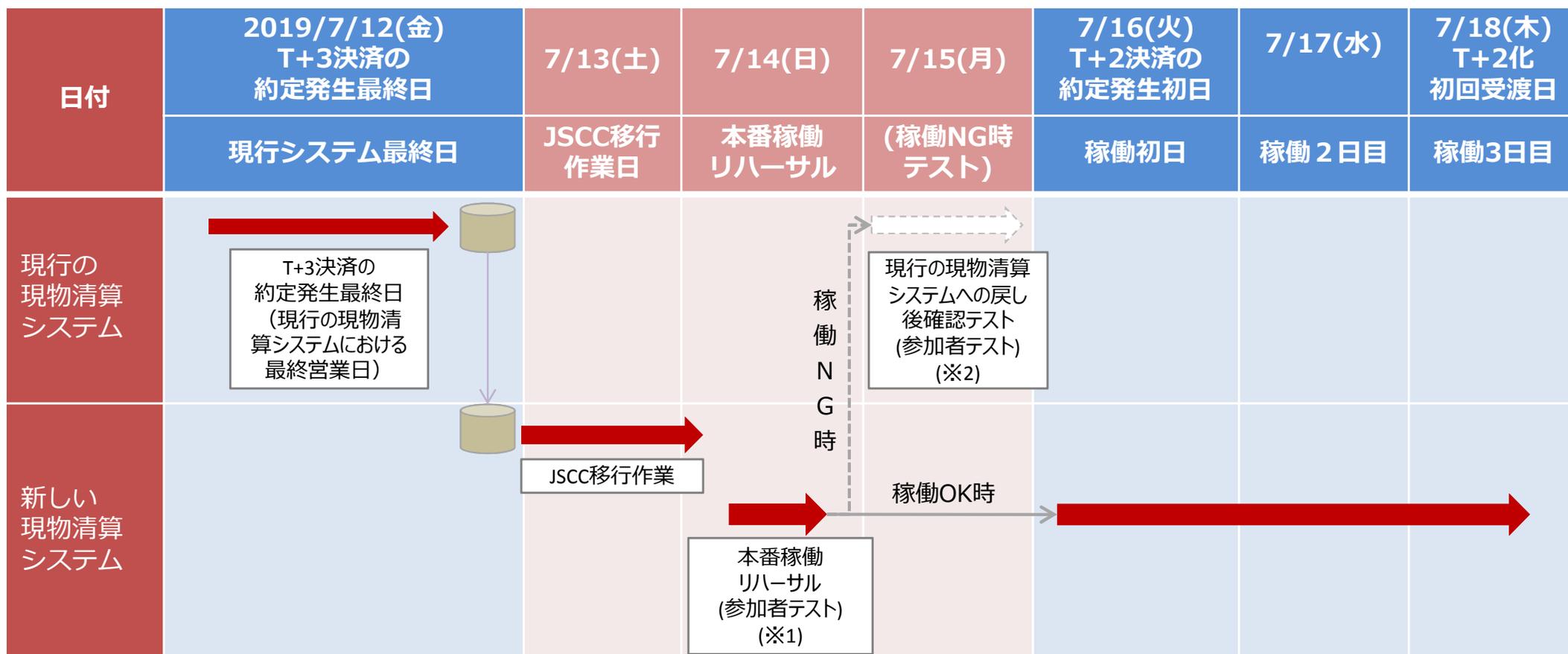
(*1) Target-JSCCサイトの、株式等の決済期間短縮化（T+2化）プロジェクト関連ドキュメント / 接続仕様書等に掲載の『FTPサイト接続仕様書_株式決済期間短縮対応版』をご参照ください。なお、現物清算業務でFTPサイトを利用しない参加者様におかれましては特段のテストは不要です。

(*2) Target-JSCCサイトの、株式等の決済期間短縮化（T+2化）プロジェクト関連ドキュメント / 接続仕様書等に掲載の『清算参加者 – 現物清算システム 直結接続仕様書』をご参照ください。なお、新しい現物清算システムと直結接続しない参加者様におかれましては特段のテストは不要です。

5. 本番稼働リハーサルに係る個別手順

5. (1) 本番移行の日程

本番移行に関する日程は下図のとおりです。



(※1) 移行期間中の2019年7月14日(日)に、本番稼働日を想定した「稼働リハーサルテスト」を実施します。
**2019年7月14日(日)の17時を目処に、
 稼働判定結果をJSCC-Webサイト (<https://www.jpx.co.jp/jsc/>) に掲載する予定です。**

(※2) 稼働判定結果がNGとなった場合、7月15日(月)に「現行の現物清算システムへの戻し後確認テスト」を実施します。
 -この場合の再移行日(予備日)は、別途決定次第、ご通知させていただきます。再移行日の想定時期としましては、2019年9月17日(火)の予定です。

5. (2) 本番稼働リハーサルに参加申込方法

- 2019年7月14日（日）に実施する本番稼働リハーサルは任意参加です。
- 「本番稼働リハーサル」に参加される場合は、「別添1 休日テスト（業務確認／RT_ストリートサイド（SS））参加申込書」に必要事項を記載の上、Target-JSCCサイトよりご提出ください。既にご提出頂いている場合は、参加予定に変更がある場合のみ、ご提出ください。
- なお、本番稼働リハーサルにつきましては、結果報告書のご提出は不要です。

参加者	提出書類	提出者	提出先	提出方法	期日
SS	休日テスト（業務確認／RT_ストリートサイド（SS））参加申込書	本番稼働リハーサルに参加される清算参加者	JSCC	Target-JSCCサイト	2019年6月28日（金）

5. (3) 本番稼働リハーサルの実施概要

- 本番稼働リハーサルにおいてインフラが提供するテスト実施環境は以下のとおりです。

インフラが提供するテスト実施環境		
JSCC	システム環境	本番環境
	対象システム	新しい現物清算システム（※）、SSO/ポータル、FTPサイト 担保管理システム（WebPortal 及び WebPortal+にて現物清算の当初証拠金通常所要額の値が確認可能です。）
ほふり	システム環境	本番環境
	対象システム	決済照合システム、株式等口座振替サブシステム ※ 上記以外のシステムについては、利用できません。

（※）現物清算システムは、上記ほふり提供システム及びarrowhead/ToSTNeTと接続します。
日証金、PTS、日銀、TMIとの接続はございません。

- 本番稼働リハーサルの実施日、システム運用日付などは以下のとおりです。

休日テスト	実施日	システム運用日付	必須 /任意	システム稼働時間帯	
				JSCC	ほふり
本番稼働リハーサル	2019年7月14日(日)	2019年7月16日(火)	任意	8:00～16:00	9:00～14:00

※ 2019年7月16日の本番稼働日を想定したテスト実施環境を提供しますので、業務確認テストや各RTにおけるDay1と同様の確認観点で必要に応じテストを実施ください。

ただし、現物清算システムに対する当日の約定データに関しては、arrowhead/ToSTNeTからのデータ連携のみを予定しており、日証金、PTSからのデータ連携の予定はありませんので、ご注意ください。

5. (3) 本番稼働リハーサルの実施概要

【本番稼働リハーサルの運行スケジュール】

- 本番稼働リハーサルの運行スケジュールについては、全体編の別紙「休日テスト時のタイムチャート」をご参照ください。

【本番稼働リハーサルにおける留意事項】

- 本番稼働リハーサルにおける留意事項は以下のとおりです。

#	留意事項
1	<ul style="list-style-type: none">• JSCC現物清算参加者による現物清算システムへのログインはSSO/ポータル経由となります。 <u>SSO/ポータルへのログインID/パスワードは、直前営業日（2019年7月12日（金））の本番業務のオンライン終了時点のものを引継ぎます。なお、稼働リハーサルにおけるログインID/パスワードの追加・変更内容は、翌営業日の本番業務には引き継がれませんので、ご注意ください。</u>
2	<ul style="list-style-type: none">• 稼働リハーサルで行ったオペレーションは、本番稼働日（2019年7月16日（火））には一切引き継がれません。

5. (4) 稼働NG時の現行システムへの戻し確認テストについて

- 稼働判定がNGとなった場合に限り、現行の現物清算システムへ戻したうえで、現行戻し確認テストを7月15日（月）に実施します。

インフラが提供するテスト実施環境		
JSCC	システム環境	本番環境
	対象システム	現行の現物清算システム（※）、SSO/ポータル、FTPサイト 担保管理システム（WebPortal 及び WebPortal+にて現物清算の当初証拠金通常所要額の値が確認可能です。）
ほふり	システム環境	本番環境
	対象システム	決済照合システム、株式等口座振替サブシステム ※ 上記以外のシステムについては、利用できません。

（※）現物清算システムは、上記ほふり提供システム及びarrowhead/ToSTNeTと接続します。
日証金、PTS、日銀、TMIとの接続はございません。

- 現行システムへの戻し確認テストの実施日、システム運用日付などは以下のとおりです。

休日テスト	実施日	システム運用日付	必須 /任意	システム稼働時間帯	
				JSCC	ほふり
現行システムへの戻し確認テスト	2019年7月15日(月)	2019年7月16日(火)	任意	8:00～16:00	9:00～14:00

※ 2019年7月16日を想定したテスト実施環境を提供します。現物清算システムに対する当日の約定データに関しては、arrowhead/ToSTNeTからのデータ連携のみを予定しており、日証金、PTSからのデータ連携の予定はありませんので、ご注意ください。

5. (4) 稼働NG時の現行システムへの戻し確認テストについて

【現行システムへの戻し確認テストの運行スケジュール】

- 現行システムへの戻し確認テストの運行スケジュールについては、全体編の別紙「休日テスト時のタイムチャート」をご参照ください。

【現行システムへの戻し確認テストにおける留意事項】

- 現行システムへの戻し確認テストにおける留意事項は以下のとおりです。

#	留意事項
1	• 業務データ（約定、決済予定データ等）及び各種ID/パスワードは、2019年7月12日（金）の現行本番業務終了時点の状態です。
2	• 現行システムへの戻し確認テストで行ったオペレーションは、2019年7月16日（火）には一切引き継がれません。

6. テスト実施にあたっての連絡先

6. テスト実施にあたっての連絡先

<事前照会先>

インフラ	分担	担当	電話	E-mail
JSCC	JSCC清算制度・業務全般に係る問合せ先	日本証券クリアリング機構 取引所取引清算部	050-3361-1795	jsc-t2@jpx.co.jp
	現物清算システムの仕様、 現物清算システムの利用申請、 arrownet手続き関係の 問合せ先	JPXサービスデスク	0570-064-054 (ナビダイヤル) ※IP電話・PHSからは、 050-3819-1070 にお電話下さい。	servicedesk@jpx.co.jp

<テスト当日>

インフラ	分担	担当	電話	E-mail
JSCC	JSCC清算制度・業務全般に係る問合せ先	日本証券クリアリング機構 取引所取引清算部	050-3361-1795	jsc-t2@jpx.co.jp
	現物清算システムの仕様に係る問合せ先	東京証券取引所 IT開発部 現物清算システム担当	050-3377-7735 050-3377-7736	tseitd-t2@jpx.co.jp